

うるま市農業委員の推薦及び応募の状況（中間公表）令和8年7月27日現在

受付番号	推薦・応募	被推薦者（推薦を受けた者）又は応募者（自ら応募した者）							推薦者（一般・団体推薦）		推薦理由又は応募理由等	農地利用最適化推進委員への推薦又は応募
		氏名	年齢	性別	経歴	農業者又は中立委員の別	農業経営の状況	認定農業者又は準ずる者の該当有無	団体名	代表者氏名又は推薦者氏名		
1	応募	外間 匠	37	男	新規就農認定 令和3年10月28日	農業者	耕作面積：約700坪 営農類型：施設野菜 主な作目：トマト・キュウリ・ピーマン	有 認定新規就農者	—	—	私自身、新規就農から農地の確保・整備・栽培・販売まで経験してきた立場を生かして若い世代の農業活動を応援したいと思い、応募しました。	無
2	応募	伊地知 亮二	65	男	農業の教諭として採用される 県立名護養護学校（4年勤務） 県立北部農林高校（8年勤務） 県立中部農林高校（8年勤務） 県立南部農林高校（5年勤務） 教頭に昇任 県立八重山農林高校（2年勤務） 県立北部農林高校（3年勤務） 県立中部農林高校（2年勤務） 県立農業大学校（教授として2年勤務） 県立南部農林高校（1年勤務） 県立北部農林高校（2年勤務） 退職 うるま市農業委員に任命される うるま市農業委員（2期目）に任命される 昭和59年4月1日 平成20年4月1日 令和3年3月31日 令和3年4月1日 令和6年4月1日	中立委員	—	—	—	—	令和3年に初めてうるま市農業委員として任命され現在2期目となる。担当地区が田場・赤野・宇堅に変わったが、農地利用最適化推進委員が同地区の農家であることから、様々な情報をもちうことができ、地区の抱える問題に取り組んでいる状況である。その一つにこの地域の農業振興地域は灌漑施設が整っていないことがあげられる。現在、目標地図づくりに取り組んでいるところであるが農家の意見集約があまり進んでおらず、どうやって意見交換会などへ足を運んでもらうかなど課題も多い。2期を終了するにあたり、農業委員や事務局との連携もとれるようになり、来期も継続して行うことでこれらの取り残している諸課題や担い手育成・遊休農地の解消に力を注いでいきたい。	無
3	応募	平 正盛	75	男	具志川市役所 採用 合併によりうるま市役所 うるま市役所 退職 うるま市市議会議員 伊計島総合開発 代表取締役 (株)ホームセキュリティ 沖縄市立美里小学校 (プール管理員) 沖縄県立 中部農林高等学校 支援員 昭和48年4月1日 平成17年4月1日 平成22年6月30日 平成22年9月27日～ 平成26年10月 平成27年3月1日～ 令和2年3月末日 令和2年3月6日～ 令和6年3月末日 令和6年6月17日～ 令和6年10月末日 令和6年12月4日～ 令和7年3月末日	農業者	耕作面積：838㎡ 営農類型：果樹・路地野菜 主な作目：パナナ・シークワサー	無	—	—	農業の『農』と言う字は「曲」と言う字に「辰」と言うで出来ています。「曲」は、畑か田と言うことで。また、「辰」とは「日々・とき」と辞典にはあり、『農』とは「耕し、作物を生産する」と辞典にあります。従って、「日々、作物を植えて育て、人間が生きていくためのせいかつの基礎」と理解します。『業』と言う字は、①「しごと」や②「事業や産業」と辞典にはあります。よって、農業とは「日々、作物を生産し、人々の生活の糧とする基礎だ」と理解し、「市の皆さんと共に農業の推進をして行きたい」との理由で、応募致します。	無